

新春



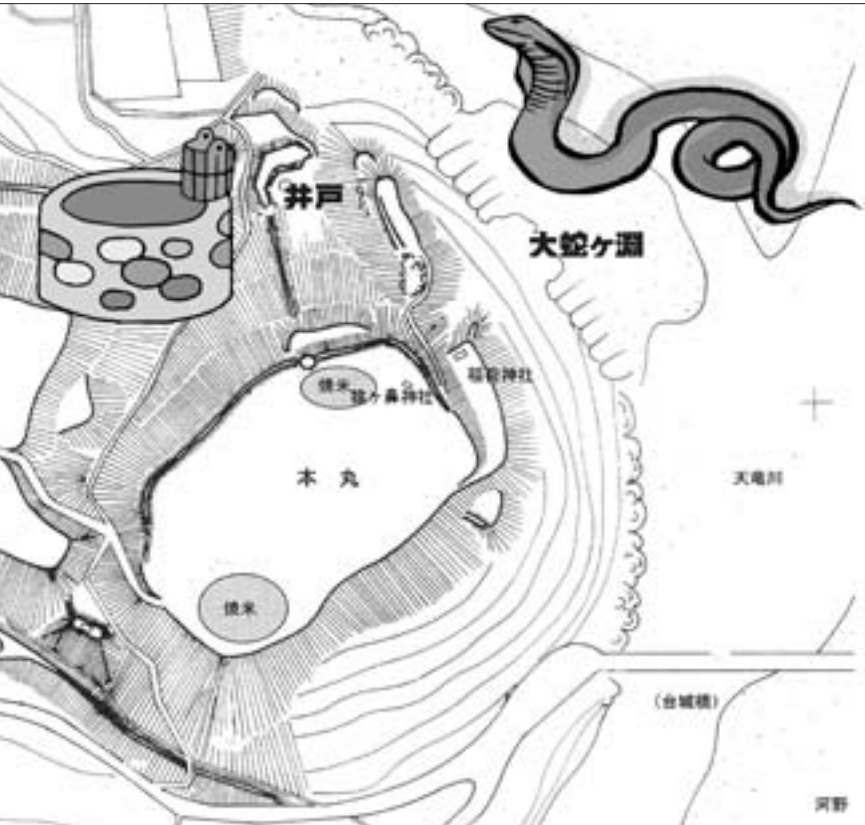
「大蛇伝説の残る台城」

大蛇が水面から時々姿を現して、吐く息で城を守ったという

館報 まつかわ

平成25年 元旦
松川町公民館報 第591号

に 迫 る !!



松川町には、古くから数多くの伝説があります。編集部では、今年が巳年といつこともありへびにまつわる伝説はないかと探していたところ、『大蛇ヶ城』という伝説があるとの情報をいただきました。そこで今回の特集では、台城にまつわる伝説を紹介します。

大島城(台城)の歴史

平安時代末期、大島の地に住んでいた大島氏がこの地に城砦を築き、440年ほど前に武田氏が修築して今の城形になったといわれています。武田氏は二十八万石の軍令の中で台城に関する命令を多く出して、信濃攻略・三河進出のための拠点として重要視していました。

台城伝説その1 大蛇ヶ城



大蛇が潜んでいたとされる大蛇ヶ淵

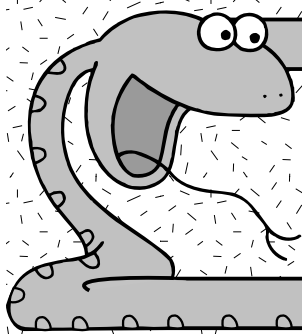
台城の東側は天竜川につきだした絶壁で、すぐ下は水が渦を巻いて流れていて深い淵になっています。昔は今よりも水量が多かったため、人が近づく事ができない天然の要塞でした。

にはいろいろな物語があり、話の中で「大蛇ヶ城」「猿ヶ鼻城」とも伝えられて地元で親しまれ、現在でも戦国時代の城跡をはっきりと残しています。

して、その大蛇が時々水面に姿を現し、大きく息をする。水面から白い霧が立ちのぼる。霧が立ちこめるのが嫌いで、霧が大蛇の仕業と知り家来を集めて大蛇を退治することになりました。天竜川に毒を流し、大蛇が苦しがつて水面に浮かび上がったところを、弓や槍を射て殺してしまいました。

それから、台城に立ちこめる霧はなくなりましたが、外から城の様子が変わるようになってしまい、その後落城してしまつたといわれています。落城の原因は天竜川の主である大蛇を殺した報いが招いたと現在まで伝えられています。

他にも、台城が攻められた時、大蛇が天竜川対岸からの攻撃から城を守っていて、敵側が大蛇を殺してしまつた話もあり、台城の伝説を語る上で大蛇は重要な存在となっています。

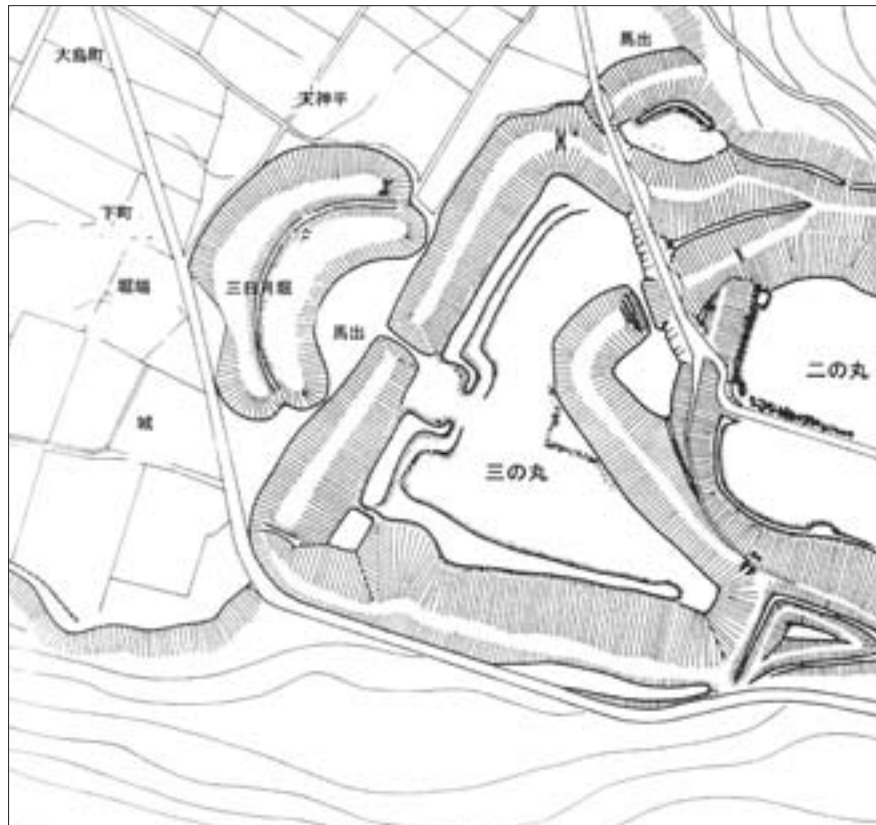


巳年にちなんで.....

台 城 伝 説

蛇の伝説とは違いますが、台城といえは有名な「金の鶏」のお話があります。日本各地に多く残っている「金鶏伝説」の一つといわれているお話しには必ずといっていいほどお姫様が登場しています。

今も昔も洋の東西を問わず伝説になるような姫は美人と決まっているようですが、台城のお姫様もたいへん美しいといわれていたようです。



城の本丸の西、深い堀の底にあるさし渡し2メートル、深さ2メートルの大きな井戸は、城にとつての重要さからか外からは解らない所に造られていたようです。

堀、土塁、馬出など様々に工夫され堅固に造られた大島城も、とうとう落城のときを迎えることとなりました。

天正10年(一五八二年)2月、織田信長の息子、信忠を大将とする軍勢が攻め入るのですが事実上の戦いは無く、その勢いにおそれて城に火を

放ち立ち退いたものとされています。

生まれ育った城が火につつまれるのを見たお姫様の気持ちはどのようなものだったのでしょうか？

父母との想い出、遊び暮らした多くの場所、喜び悲しみの思いのつまった城が焼け落ちるのを見届けたお姫様は、日頃から可愛がっていた金の鶏を抱きしめ井戸に身を投げました。この金の鶏は作り物ではなく金色をした美しい鶏であったらしい、とされてます。悲しい最後をむかえたお姫様の思いが、井戸から聞こえるすすり泣き、という噂になって人々の間に広まったのでしょうか。

今でも元旦には、にわどりの時を告げるかすかな声が聞こえるとか..。



金の鶏伝説の井戸



今回台城の伝説のお話をしてくださった入野実さん

公民館に携わるからには、地域の文化を大切に後世に残していく使命がある事を感じました。

今回、台城の伝説を教えてくださいました古町の入野実さんは、小さい頃聞いた話を忠実に話をしてくださいました。当時の様子が浮かんでくるようなとてもなつかしいひと時でした。

私達のまわりにある地域の文化は、長い間の生活の中から生みだされ、築きあげられて定着してきているものがほとんどです。その中にある伝説はもちろん史実ではありませんが、どんなに小さくささやかな伝承でも、その中には、このふるさとの昔の人々の情緒や生活がにじみこんでいます。





昨年度はAFS東アジア青少年大交流計画（ジェネシス・プログラム）でインド、マレーシア、インドネシア、フィリピン、オーストラリアの高校生5人と引率の先生を1週間受け入れ、授業とホームステイを通じて理解を深めました。また、東日本大震災の影響で海外からの修学旅行生が激減する中、急遽、来日が決まった中国上海市滸山中学の高校生45人も本校で受け入れ、交流をしました。本校の生徒が通訳をしました。

松川高校では、これからの時代を睨み、国際理解教育に力を入れ、外国の高校生を積極的に受け入れています。

松川高校
国際交流報告
校長 三浦 章

今年度は、ニュージーランドのハリソン君が松川高校に留学しています。元大島の宮下さん宅にホームステイをさせていただきながら、松川高校へ通学しています。彼の将来の夢はニュージーランドで日本語の教師になること。2年生と広島、神戸、大阪、京都へ修学旅行へも行ってきました。

来年度もタイからの留学生(15歳、女子)を本校に1年間預かります。タイの首都バンコク在住で、愛称はファースト(初孫なので)、英語を12年間勉強しているとのこと。英語での会話はもちろん、タイ語やタイ文化についてもいろいろと教えてもらえるのではないかと、大変楽しみにしています。

日本のお母さん (宮下さん) からの メッセージ

『ニュージーランドからの留学生、なかなかホームステイ先が見つからなくて困っているらしいよ』という話を小耳にし、じゃあ『我が家ぞ』と軽く引き受けしてしまった時、まさかこんなに素晴らしい体験が出来るとは、誰も想像出来ませんでした。

ハリソンが我が家に来て4ヶ月。嬉しかった事がいっぱいあります。まず一つに『ありがとう』という言葉が増えました。ハリソンが色々な場面でよく『ありがとう』と言ってくれるので、私たち家族の中でも『ありがとう』が増えた気がします。週1回のペースでニュージーランドの家族や友達と話すスカイプ(テレビ電話の様なもの)は、特に娘達が楽しみにしています。一度そのスカイプを通してあちらのご両親が、ニュージーランドのハリソンの家中を案内してくれた時がありました。モデルハウスのようなお宅に感謝し、今すぐハリソンをうちのけで私がニュージーランドに行きたいくらいでした。素敵なお両親に可愛い妹と弟。こんな幸せな家族と一緒に愛情豊かに育ったからこそ今のハリソンがいるんだなあとしみじみ感じました。私が風邪で寝込んだ時、私の代わりに習い事から帰ってきた娘たちにチャーハンとスープを温めて出してくれた時は、すっかり我が家のお兄ちゃんのように感じました。長男とは映画の話で盛り上がり、長女とは英語の歌を大熱唱。末っ子にはおんぶしたい肩車したい。私にはフェイスブックまで作ってくれました。未だ使い方が良く分かりません。

温泉好きなお父さんとは、色々な温泉めぐりをした裸の付き合いです。文化や習慣が違う場所には17歳という若さで単身日本に来て、きっと辛い事や寂しい事、いっぱいあったと思います。でも染して顔には出さず、いつも笑顔で前向きなハリソンから、私たち家族はどれだけの事を学んだでしょう。いつかハリソンの故郷ニュージーランドに私たちも行ってみたい。日本とは季節が逆の南半球の同じような島国へ…。

ハリソン。我が家にホームステイしてくれて、本当にありがとう。

ハリソン君から

Hello everyone. My name is Harrison. I am an exchange student from New Zealand. I have been living in Matsukawa since August. Before coming to Japan my Japanese teacher in New Zealand told about how Nagano prefecture was a nice place. So I was really excited to be living in Matsukawa. Living in Matsukawa has been really great. The people in Matsukawa are really friendly, the scenery is beautiful and the atmosphere is really great, so I have been really lucky to live here, I think. I have been able to experience Japanese lifestyle here, so thank you all very much.(H)

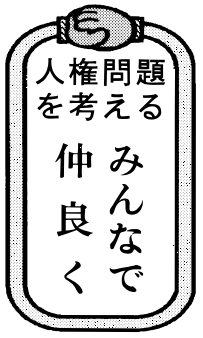


松川高校ではホームステイの学生を受け入れてくれる方を探しています。

お問い合わせ

松川高等学校 37-2011

担当：英語科 中村



かぞえ詩 うた

ひとつ、ふたつ、みつつ…
三十二の瞳がそれぞれを映し出す

ひとつ、ふたつ、みつつ…
三十二本の足がみんな一緒に歩き出す

ひとつ、ふたつ、みつつ…
三十二本の手でそれぞれが助け合う

ひとつ、ふたつ、みつつ…
三十二の耳が一人ひとりの声に耳をすます

ひとり、ふたり、さんにん…
十六人の子どもたちが今日もみんなで心をひとつに合わせいていく

(瀧澤 幸広)

人権標語

東小学校

「手伝うよ」
困ったときの助け合い

5年 遠藤久流美

友だちと手を取り合って助けあおう

5年 大森 吉記

友だちのいいところ探し認め合い

5年 清水 響介

一人ではできないけれどみんななら助け合えるよ手を取り合って

5年 橋場 瑤子

追い出そう悪いところを自分から

5年 本塩 亮太

助け合いみんなとつながる輪になって

5年 松下 晃

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

(その十六)

ふるさと探検シリーズ4 「化石採集」

下伊那郡内には大昔の魚介類や木の葉の化石が見られる川や崖があることは知られていても、実際にその場所を見たり化石を拾ったりした経験がある方は少ないのではないのでしょうか。そこで、松川青年の家ではふるさと探検シリーズの第4弾として、9月30日に「化石採集」という講座を計画し、町のバスに乗って阿南町の富草地区へ出かけました。

化石の種類のもさにびっくり

最初に訪れたのは阿南町の化石館です。そこには直径が50cmもある大きなノジュール(小さな化石や砂粒が集まって球形に固まったもの)や古代サメの歯、デスモスチルス(1,200万年前に絶滅した哺乳類)の歯など様々な化石が展示されていました。化石館の方のお話では、当地から産出したものだけでなく他地

域で採集されたものも含め130種類もの化石が展示されているとのことでした。参加された皆さんは珍しい形や種類の多さに驚きながら見学をしていました。



山の崖から貝の化石が

私たちは化石館の見学を終え、梅田という地籍にある小さな崖に移動して楽しみにしていた化石採集をしました。その崖はあまり広くはありませんでしたが、岩のかけらを手にとって見ると、中に小さな2枚貝のような形をしたものや丸い形をしたものが入っていました。講師の小泉先生にお聞きすると「それは貝の化石」「これはウニの仲間の化石」とか「これは珍しい化石だ」と親切に教えてくれました。みんな楽しくなって夢中で岩をかなづちで砕いたり、土の中から石を掘り出したりしました。また、先生から

沢には違う化石が

ちようどその日は台風が近づいてきたこともあり、次の化石観察場所へ到着した時には雨が降ってきてしまいました。私たちはお弁当を短時間で済ませ、急いで沢を歩いて化石を探しました。ここは先ほどの山の崖とは違って、大きな2枚貝の化石が目立つ砂岩(砂が固まってできた石)がたくさん転がっていました。私たちはその中から気に入った石を1つずつ選んで帰ってきました。参加された皆さんは化石採集だけでなく、大昔の風景を自分なりに描いた1日になったことでしょう。



雪をもとかす

熱湯スポーツ



松川町男女別 ダブルス バドミントン大会

平成24年12月9日、町民体育館にて松川町男女別ダブルスバドミントン大会が行われました。

結果は次のとおりです。

男子の部		女子の部	
Aブロック	Bブロック	Aブロック	Bブロック
優 勝 寺沢 淳	優 勝 中島 和人	優 勝 米村 寿	優 勝 林 慧里
準優勝 佐々木章吾	準優勝 二村 和久	準優勝 竹村 渉	準優勝 宮下 春花
(ジョイフルB・C)	(ジョイフルB・C)	(上片桐B・C)	(松川町ジュニアB・C)
第三位 林 元彦	第三位 池上 佳弘	第三位 北原 正尚	第三位 桑澤 優里
第三位 寺田 宗孝	第三位 宮下 健	第三位 小池 久男	第三位 吉川 友菜
第三位 福与B・C	第三位 福与B・C	第三位 桜井 誠	第三位 松川町ジュニアB・C
第三位 福与B・C	第三位 福与B・C	第三位 松上 霞	第三位 友菜
第三位 福与B・C	第三位 福与B・C	第三位 赤津 愛美	第三位 友菜
第三位 福与B・C	第三位 福与B・C	第三位 宮崎真理子	第三位 友菜
第三位 福与B・C	第三位 福与B・C	第三位 山岸 香	第三位 友菜
第三位 福与B・C	第三位 福与B・C	第三位 林 暁	第三位 友菜
第三位 福与B・C	第三位 福与B・C	第三位 清水 菜芳	第三位 友菜
第三位 福与B・C	第三位 福与B・C	第三位 福与B・C	第三位 友菜

宮澤 豊さん
旭日双光章叙勲
“情熱をそそいだ虫歯予防”

男子の部		女子の部	
Aブロック	Bブロック	Aブロック	Bブロック
優 勝 米村 寿	優 勝 中川オルガ	優 勝 城子 絵里	優 勝 二村 佳子
準優勝 竹村 渉	準優勝 二村 和久	準優勝 佐藤 千佳	準優勝 二村 佳子
(上片桐B・C)	(ジョイフルB・C)	(上片桐B・C)	(ジョイフルB・C)
第三位 北原 正尚	第三位 池上 佳弘	第三位 森脇 彩理	第三位 二村 佳子
第三位 小池 久男	第三位 宮下 健	第三位 山内 風音	第三位 二村 佳子
第三位 桜井 誠	第三位 福与B・C	第三位 丸山 和美	第三位 二村 佳子
第三位 松上 霞	第三位 福与B・C	第三位 松川町ジュニアB・C	第三位 二村 佳子
第三位 赤津 愛美	第三位 福与B・C	第三位 松川町ジュニアB・C	第三位 二村 佳子
第三位 宮崎真理子	第三位 福与B・C	第三位 松川町ジュニアB・C	第三位 二村 佳子
第三位 山岸 香	第三位 福与B・C	第三位 松川町ジュニアB・C	第三位 二村 佳子
第三位 林 暁	第三位 福与B・C	第三位 松川町ジュニアB・C	第三位 二村 佳子
第三位 清水 菜芳	第三位 福与B・C	第三位 松川町ジュニアB・C	第三位 二村 佳子
第三位 福与B・C	第三位 福与B・C	第三位 松川町ジュニアB・C	第三位 二村 佳子



平成24年秋の叙勲で旭日双光章を受章された宮澤豊さん。「若い頃は必死だったな」と、今までの活動を語ってくれました。

宮澤さんが歯科医師となつて松川町へ戻ってきた時代は高度経済成長長期。物が豊富に出てきた時で、子どもがジュースやお菓子を大量に摂取していた。しかし大人は、仕事で忙しくて子どもに手を掛けられない状態で、子どもの虫歯がとてもひどかったそうです。「どうにかしなければ」との思いから虫歯予防に情熱的に取り組むようになっていきました。

学校の校医を務められ、学校側へ歯をみがく、口をゆすぐ環境を設置してもらったり、子ども達に歯の大切さを子ども目線になって伝えていきました。

宮澤さんは、この勲章は仲間達の代表で受章したもので一人ではここまでできなかったと言われ、今後も歯科医師として体が動く限り続け、患者さんが歯の痛みから開放され安心して帰っていく姿を見ていきたいそうです。



「公民館活動の現在が 地域の未来をつくる」

～第50回松川町公民館研究集会のご案内～

日 時：平成25年 2月24日(日)
午後12時30分から
場 所：町民体育館トレーニングルーム

松川町公民館研究集会は、昭和38年に第1回目が開催され、今年度で第50回という大きな節目を迎えます。

今回は、第48回から3年計画ですすめてきた「まちづくりと公民館」という共通テーマのまとめの集会にもなります。これまで出された意見をもとに

- ①防災・地域コミュニティ
- ②自然・環境
- ③子育て・家庭教育
- ④体育・健康
- ⑤若者・世代間交流

の5つの分科会を計画しました。公民館関係者だけでなくどなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください！

詳しくは、町のホームページをご覧ください。中央公民館までお問い合わせください。

お申込み・お問い合わせ先
中央公民館 (電話) 36-2622

しも柱
中央小5年 岡村恭子

今朝ふんでくしも柱。
人の畑におしゃまして、
しも柱をふみにいく。
見つけたらすぐふみつぶす。
かわいさだけごめんさい。
これが私のストレスかいしょう。
ザワツ、ザワツ。
今日も楽しくふんで行く。



講座の受講生でもあるハーモニーコンサート実行委の皆さん。「私たちの成果発表はもちろんですが、世界で活躍する若手演奏家によるピアノトリオの演奏を聴きにお越しください」



歌をうたって健康づくり ハーモニーコンサート実行委員会

「よい音楽を聴いて心を豊かにしよう」と20年にわたり開催されてきたハーモニーコンサート。「聴く場」の提供だけでなく「体感する場」も必要では、と実行委の中から声があがり、プロの指導のもと発声の基礎を学ぶ講座を昨年6月から開催。10代から80代までの町内男女約50名が受講しています。

ハーモニーコンサート
2月9日(土) 午後7時00分
会場/町体トレーニングルーム
料金/大人1,000円
中学生以下500円
※未就学児の入場、同伴不可
託児あり(1月31日までに申込必要)
お問い合わせ先 Tel 36・3778
松川町社会福祉協議会

す。最終目的はコンサートでの成果発表。緊張もあります。が、歌うことの楽しさの方が大きい」と実行委員長の加賀田睦美さん。本番ではプロの演奏で合唱を2曲披露します。皆さんの成果を聴きに出かけましょう。



家族
中央小5年 浅井美海
休みの日は
ゆつくり話したり
たくさん遊んだり
いっしょにご飯を食べたり
みんなで出かけたり
楽しく旅行に行ったり
いっしょにねたり
大切な家族



寒暄
鋤柄 郁夫(宮坂)

寒暄
鋤柄 郁夫(宮坂)

寒暄や蛇にも見えし雲生ず
万才も落語も半端よろけ独楽
「サムイヨネ」スソシオドロカ「寒雀
正月の終りて「黙」の街となり
饒舌も寡黙もありて新年会



短歌
中原 朋子(東浦)

短歌
中原 朋子(東浦)

街角に売り出しの旗はためき
て師走の空に粉雪の舞う
雪漬す音響かせて朝の道ゆつ
くりとした車の流れ
熟したる黄色のレクチェの甘き香
は奏えたる心をほぐしてくれる
運転の免許更新終えし今熱き
コーヒーぐつと飲み干す
入り日近き光届きて裸木は雪
野に長く影伸ばしている



まちの石仏 ② 「蚕玉さま(7)」(長峰)

仏様として祀られた蚕玉様。



東北復興支援 福島いわき方面探訪 史学会・資料館、歴史ロマンの旅

町の史学会・資料館が共同で毎年実施しています。歴史ロマンの旅は、昨年引き続き東北復興支援の一環として、本年は地震災害や原発事故に苦しむ福島県いわき方面を訪れました。

いわき市は3月11日の東日本大震災と4月11・12日の福島県浜通り地震により市内の全半壊戸数は仙台市に次ぐ4万戸に上り(津波災害も含む)、死者は津波や土砂崩れによるものを中心に400名に及んでいます。

今回の訪問では塩屋崎灯台の近くでドライブインを営み被災した山六観光の鈴木一好さんより被災時のお話を聞くことができました。大津波により薄磯と呼ばれる名勝の美しい砂浜と海辺の町は一瞬にして消滅してしまい、鈴木さんは親類だけで15名も失ってしまいました。幸いにも命が助かった鈴木さんは翌朝、手持ちのカメラで壊滅した町を記録しました。行方不明者などの捜索も始まる前の生々しい写真を前にお聞きしたお話

いわき市薄磯で被災体験をおききして。(前列中央が鈴木一好さん)



は、おそらく私たちには想像をはるかに超える鬼気迫るものでした。報道等で知るよりも、現地で直接聞くお話は本当に恐ろしく悲しいものでした。多くの皆さんが涙し、記録された写真に思わず手を合わせていました。鈴木さんは、「悲しい体験であるが話すことにおいて多くの人々に訪れてもらえれば、

それだけ復興も進む」と考え、努力されています。「次に来てもらえる時には美しい浜を取り戻してきます！」と力強く語る鈴木さんに一同、エールを贈りました。宿泊は海岸線から9キロ離れたスパリゾートハワイアンズ。自らも被災しながら笑顔で踊るフラガールたち。彼女らの笑顔は避難所で過酷な毎日を送る多くの人々に笑顔と勇気を与え、全国の人々に大きな感動を与えました。彼女らの素晴らしいショーを堪能し、フラガールたちに大きな拍手を贈りました。そこへ行くこと、そこを忘れないこと、そこから学ぶこと、これが私たちにできる一つの支援と考えます。(資料館)

◎◎◎草

3・11の震災後、私は去年の12月に初めて被災地を訪れました。仕事の関係で行ったわけですが、まずは、行かせていただいた皆さま、ありがとうございます。

被災地の人たちと話をした中で最も印象的だったのは「聞いてほしいんだな」ということでした。私がおじやました仮設住宅の方は、家族もおり、近所づきあいもあり、会話に困っているという方ではありませんでした。しかし私が訪問すると、今の生活のことや災害時のことなどをたくさん話してくれました。

被災地の皆さんは、この震災を経験していない人に自分たちの事を聞いてもらいたいのだと思います。そして、言葉にすることで自分の中の気持ちを少しずつ整理しているのかもしれない。また行きたいという思いがわき起こった経験でした。

光澤 正之

公民館報
「まっかわ」
第 591 号
平成25年 1月15日

発行者 松川町公民館 登部
責任者 矢澤 公民館編集部
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)